

## 令和元年度及び令和2年度 学校評価アンケート結果と考察

### (1) 自ら学ぶ子の育成

<身につけたい資質・能力>

○主体的な力 ○課題設定力 ○関わり合う力 ○自ら働きかける力 ○自己実現に向かって行動する力

#### 教師学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりに努めている。	83.9	96.8	12.9
2	基礎的な学力の定着を図り、それらを活用する指導の工夫をしている。	93.5	100.0	6.5
3	子どもの能力や努力を適切・公平に評価している。	96.8	96.8	0.0
4	主体的に校内研修に参加し、学んだことを実践している。	87.1	100.0	12.9
	平均	90.3	98.4	8.1

#### 保護者学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校は基礎的な学力の定着を図り、それらを活用する指導の工夫をしている。	97.7	97.0	-0.7
2	学校はお子さんの能力や努力を適切・公平に評価している。	99.6	98.0	-1.6
3	お子さんは学校の授業は分かりやすいと言っている。	94.3	84.7	-9.6
	平均	97.2	93.2	-4.0

#### 児童生徒学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	自分の夢や目標を持っていますか。※質問2, 3と重複するためR2は削除	91.7		
2	自分の夢や目標に向かって努力していますか。	85.8	89.6	3.8
3	あなたは努力することで目標が実現すると思いますか。	90.7	90.3	-0.4
4	めあてを意識して授業に参加していますか。	88.4	93.3	4.9
5	授業中は先生や友達の話をよく聞いていますか。	91.1	97.0	5.9
6	授業中は自分の考えをノートに書いたり、発表したりしていますか。	86.5	88.8	2.3
7	宿題や家庭学習（塾も含む）に進んで取り組んでいますか。	88.1	86.5	-1.6
8	学習用具などの忘れ物をしない。	79.8	96.2	16.4
9	進んで読書をしていますか。	78.4	83.6	5.2
10	タブレットを使って自分の考えを伝えることは楽しいですか。※R2で追加質問		90.3	90.3
	平均	86.7	90.6	14.1

教師アンケートでは、令和元年度及び2年度で90%を超える評価となった。設問1の「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業づくりは新学習指導要領における最重要項目の一つである。令和2年度においては、校内研究テーマの中心に据え、教師一人一人が意識を高く持って主体的に授業づくりに努めた結果であると考えられる。

保護者アンケートにおいては、設問3「お子さんは学校の授業はわかりやすいと言っている」で前年度を10ポイントほど下回る結果となった。今年度はコロナの影響もあり、対面での授業開始が遅れたことや配信する課題への手立てが不十分であったこと、また、学期途中で編入学する児童生徒の進度補充が十分行えなかったことなどが考えられる。引き続ききめの細かい支援を中心とした授業づくりに努めていきたい。児童生徒のアンケート結果から、設問8「学習用具の忘れ物をしない」が大きく改善できた。学級指導において、常に忘れ物をしないよう声かけを徹底したことや、児童生徒の委員会活動などでのポスターにより一定の効果を上げた物と推察される。また、今年度新設した設問「タブレットを使って自分の考えを伝えることは楽しいですか」では、90%を超える高評価となった。引き続き、ICT機器を活用し、主体的に自分の考えを伝える機会を増やし、学びに向かう姿勢を育成したい。

**(2) 個性豊かな子の育成**

&lt;身につけたい資質・能力&gt;

○自ら働きかける力 ○表現する力 ○関わり合う力 ○他者を受け入れる力 ○違いを認め合う力

## 教師学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	90.3	100.0	9.7
2	丁寧な言葉遣いに配慮するなど適切な言語環境に努めている。	87.1	93.5	6.4
3	学校は進んであいさつをする態度を育てようとしている。	80.6	90.3	9.7
4	学校は命の大切さや人権を尊重する意識を育てようと努めている。	96.8	96.8	0.0
5	学校は子どもの個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。(異文化交流会、運動会、学習発表会、修学旅行、宿泊学習等)	96.8	96.8	0.0
	平均	90.3	95.5	5.2

## 保護者学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校全体に活気があり、子ども達が生き生きと活動している。	96.7	96.1	-0.6
2	丁寧な言葉遣いに配慮するなど適切な言語環境に努めている。	92.6	96.0	3.4
3	学校は進んであいさつをする態度を育てようとしている。	94.7	99.0	4.3
4	学校は命の大切さや人権を尊重する意識を育てようと努めている。	98.0	98.1	0.1
5	学校は子どもの個性や良さを伸ばすための行事などの工夫を行っている。(異文化交流会、運動会、学習発表会、修学旅行、宿泊学習等)	98.5	98.1	-0.4
	平均	96.1	97.5	1.4

## 児童生徒学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	あなたはできないことや難しいことにも努力して取り組んでいますか。	86.8	91.0	4.2
2	友達と仲よくすることができていますか。	93.4	97.8	4.4
3	係活動や当番の仕事を一生けんめい取り組んでいますか。	90.1	94.0	3.9
4	運動会や交流会などの行事に進んで取り組んでいますか。	93.1	93.3	0.2
5	あなたは、「人の役にたった、他人に喜んでもらえた」という経験がありますか。	93.4	93.3	-0.1
6	あなたはできるようになってうれしかった経験がありますか。	95.7	97.0	1.3
7	あなたにはよいところや得意なことがありますか。	91.1	94.8	3.7
8	道徳の授業では問題について考えたり、友達に考えを伝えたりしていますか。	92.1	91.8	-0.3
	平均	92.0	94.1	2.2

教師、保護者、児童生徒のいずれのアンケートでも前年度を上回る結果となった。教師及び保護者アンケートに共通する設問1「学校全体が活気があり、子供たちが生き生きと活動している」において、高い評価が出ている。コロナ禍においては、児童生徒が少ない中でも、各担当が子ども一人一人の居場所づくりや絆づくりに努力した結果、活気あふれる学校生活を創り上げられたと考え高く評価したい。一部の設問で前年を下回る結果が出ているが、いずれも90%を超えていることから、特に問題はないと考える。引き続き、命の大切さや人権教育などに力を注ぐと共に、様々な体験的な活動を通して個性豊かな児童生徒の育成に力を入れたい。児童生徒のアンケートでは、すべての設問の平均が94.1%であることから、ほぼ前年度を上回る結果となった。引き続き、一つ一つの教育活動を通して、児童生徒が努力することや努力して目標を達成することの大切さに気がつかせる取り組みを充実させたい。

(3) 国際社会に生きる子の育成

<身につけたい資質・能力>

○異文化を理解する力 外国語などによるコミュニケーション能力  
○発信する力 ○学びに向かう力

教師学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1-1	学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）などのICTを活用した授業の工夫を行っている。	100.0		
1-2	学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。※R2で内容一部変更		100.0	
2	学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てよう努めている。	90.3	100.0	9.7
3	学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	80.6	93.5	12.9
4	学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成に努めている。	67.7	93.5	25.8
	平均	79.5	95.7	16.1

保護者学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1-1	学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）などのICTを活用した授業の工夫を行っている。	96.8		
1-2	学校は、児童生徒の指導において大型提示装置（プロジェクター、電子黒板）やタブレット端末等のICTを活用した授業の工夫を行っている。※R2で内容一部変更		98.1	
2	学校は英語や中国語指導、異文化交流などを通して国際性を育てよう努めている。	96.3	96.3	0.0
3	学校は、自分の考えを発信する力をつけるための工夫を行っている。	94.2	95.9	1.7
4	学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成に努めている。	92.6	95.9	3.3
	平均	94.4	96.0	1.7

児童生徒学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	いつでも気持ちのよいあいさつをすることができますか。	84.2	82.1	-2.1
2	ていねいな言葉づかいをすることができますか。	79.0	87.1	8.1
3	友達と協力して物事に取り組んでいますか。	94.3	95.5	1.2
4	英語や中国語の学習に進んで参加していますか。	86.4	91.8	5.4
5	授業や集会におくれないように時間にけじめをつけていますか。	86.6	91.8	5.2
	平均	86.1	89.7	3.6

教師、保護者、児童生徒のいずれのアンケートでも前年度を上回る結果となった。特に教師アンケートでは、前年度を平均16.1ポイント上回ることができた。設問別に見ると、「学校はねばり強く最後まで頑張ることのできる児童生徒の育成に努めている」において、前年比25.8ポイントと大きく改善が見られた。授業を始め様々な教育活動において、児童生徒一人一人に粘り強く声を掛け支援し続けた結果であると考察する。また、タブレットなどを活用した授業づくりを推進することで、さらに粘り強い児童生徒育成に努めていきたい。児童生徒アンケートを見ると、設問1の「いつでも気持ちのよいあいさつをすることができますか」が前年度に引き続き低い回答結果となった。今年度は児童生徒会による挨拶運動にも力を入れているので、さらに自分から進んで挨拶ができるような指導の工夫を図っていききたい。今後、児童生徒一人一人が予測困難な時代においても未来の創り手となるよう、様々な課題に対して、他者と協力してその解決を図っていくことや、様々な情報を見極める力を育んでいきたい。

**(4) 健康・体力・安全等**

&lt;身につけたい資質・能力&gt;

○基本的な生活習慣 ○食に対する関心 ○進んで運動する ○安全に気をつける

## 教師学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校は児童生徒の体力の育成の為に努力している。	58.1	80.6	22.5
2	学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりに努めている。	71.0	100.0	29.0
3	いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	87.1	100.0	12.9
	平均	72.1	93.5	21.5

## 保護者学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校は児童生徒の体力の育成の為に努力している。	83.7	84.5	0.8
2	学校は校内の安全点検・整備を行い、安心安全な環境づくりに努めている。	98.4	98.0	-0.4
3	いじめの未然防止、早期発見・早期解決に努め、いじめを見逃さない学校づくりに取り組んでいる。	89.4	96.6	7.2
	平均	90.5	93.0	2.5

## 児童生徒学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	自分の体調に気をつけて健康な生活を心がけていますか。	90.0	88.8	-1.2
2	好き嫌いせず、お弁当をのこさず食べていますか。	87.0	88.8	1.8
3	進んで体を動かし、体力の向上に努めていますか。	84.9	83.6	-1.3
4	ろうかは走らないで安全に気をつけて歩いていますか。	69.3	81.8	12.5
5	避難訓練の時には決まりを守って行動していますか。	95.7	97.0	1.3
	平均	85.4	88.0	2.6

教師、保護者、児童生徒のいずれのアンケートでも前年度を上回る結果となった。特に、教師アンケートでは全ての設問で大きく改善が見られ、教師一人一人が児童の体力向上や心身両面での安心安全な学校づくりを心がけた結果であると考えられる。いじめを生まない環境づくり、一つ一つの問題に適切に対応するとともに、常に児童生徒の情報共有に努めた結果であると言える。保護者アンケートにおいても、安心安全な学校環境がつけられていると評価を受けたことも大切に受け止め、引き続き気を緩めずに学校環境の整備に努めたい。また、児童生徒アンケートで昨年課題となった設問「ろうかは走らないで安全に気をつけて歩いていますか」についても、前年度を12.5ポイント上回り、児童生徒の安全に対する意識が向上したものと考察する。

(5) 学校環境・その他

<身につけたい資質・能力>

○開かれた学校（授業参観、情報公開など） ○保護者相談への対応 ○学校全体の環境整備 ○特別支援教育の充実

教師学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	83.9	87.1	3.2
2	学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ等を通して、学校や子どもの様子を保護者に伝えている。	93.5	96.8	3.3
3	学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	87.1	100.0	12.9
4	教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	87.1	100.0	12.9
5	学校経営に参画意識を持ち、決まった事柄の実践と達成について、お互いに助け合う努力をしている。	74.2	90.3	16.1
6	学校は特別支援の充実に向けて、校内体制等が整備され、個々のニーズに応じた支援が図られている。	29.0	51.6	22.6
	平均	75.8	87.6	11.8

保護者学校評価アンケート

	アンケート項目	令和元年度	令和2年度	差
1	学校は保護者を学校に迎え入れる雰囲気をつくっている。	98.9	100.0	1.1
2	学校は授業参観及び懇談会、通信、ホームページ等を通して、学校や子どもの様子を保護者に伝えている。	97.7	98.1	0.4
3	学校は児童生徒及び保護者からの相談に適切に応じている。	97.3	97.1	-0.2
4	教室内の掲示物やロッカーの整理整頓に努め、学習環境を整えている。	97.4	100.0	2.6
	平均	97.8	98.8	1.0

教師、保護者、いずれのアンケートでも前年度を上回る結果となった。特に教師アンケートでは、6項目中4項目で12.9～22.6ポイントの改善が図られた。特に、設問6「学校は特別支援の充実に向けて、校内体制等が整備され、個々のニーズに応じた支援が図られている」では、大きな改善結果となったが、個別の支援体制の整備や個々のニーズに応じた支援のあり方、また、特別支援教育に対する研修を通じた教師の意識改善が図られたものと考察する。今後も、児童生徒の学習や日常生活などにおける課題を把握すると共に、保護者とも課題を共有し、個々の特性に応じた指導の充実を図っていきたい。

【参考資料】全国学力状況調査の結果（正答率）

令和元年度 小学部6年生

	本校	全国	全国差
国語	78.4	63.8	14.6
算数	75.8	66.6	9.2

令和2年度 小学部6年生

	本校	全国	全国差
国語	80.0	—	—
算数	75.8	—	—

令和元年度 中学部3年生

	本校	全国	全国差
国語	82.0	72.8	9.2
数学	85.1	59.8	25.3
英語	87.3	56.0	31.3

令和2年度 中学部3年生

	本校	全国	全国差
国語	88.1	—	—
数学	72.2	—	—

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症のため、日本は実施せず。